

- 目 次 -

1.	仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•3
2.	プログラム設置 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•4
3.	ログイン ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•6
4.	メインメニュー設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•8
5.	監視デバイス登録 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•9
6.	登録リスト移動及び並び替え機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	16
7.	DVR接続/接続終了 ······	17
8.	デバイスビューアー実行 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18
9.	画面表示機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	20
10.	画面分割モード(ライブ再生共通)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	21
11.	順次接続(シーケンス) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	22
12.	マルチ・シングルモード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	23
13.	音声機能(ライブ/再生共通) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	25
14.	PTZ遠隔操作 ••••••••••••••••••••••••••••••••••••	26
15.	遠隔検索 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	28
16.	遠隔バックアップ/ビューアー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	32
17.	キャプチャー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	37
18.	ズーム ・・・・・	38
19.	遠隔設定機能 ······	39
20.	デバイスヘルスマネージャー機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	40
21.	温度監視 ••••••••••••••••••••••••••••••••••••	42
22.	デスクトップ通知 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	45

## 1. 仕様

PCの仕様やインターネット速度によってUMS機能に制限があります。

## PC推奨仕様

CPU	i5以上
MEMORY	4G以上
グラフィックカード	1G以上
ハードディスク	60G以上
OS	Windows 7 / 8 / 10
その他	DirectX 11C以上設置

## [参考]

UMSプログラムは機能追加や性能向上を目的としてプログラムが更新される事があります。 その際、PCの仕様によって機能が制限される場合や、PCの推奨仕様が変更される事があります。

# 📃 2. プログラム設置

- [1] CDの中からUmsSetup.EXEファイルを実行します。
- [2] 下記の順序に従って設置してください。



上の画面で"次へ"ボタンをクリックします。



上の画面で"次へ"ボタンをクリックします。



上の画面で"次へ"ボタンをクリックします。

保存先に変更がある場合のみ、"変更"を選択し、保存先を指定します。



上の画面で"次へ"ボタンをクリックします。



上の画面で"次へ"ボタンをクリックします。

設置が正常に完了されたら、デスクトップに設置されたアイコンが表示されます。



3. ログイン

デスクトップのUMSアイコンをクリックすると、下図のようにログインの画面が表示されます。 ※ログイン画面を表示しない設定にしている場合、下記の画面は表示されません。



#### 初期パスワードは下記を参考にしてください。

ユーザー区分	初期 <b>パスワード</b>
admin(最終管理者)	admin
puser (中間管理者)	puser
user (一般ユーザー)	user

### ユーザー権限の設定は必ず管理者でログインしてください。

テバイス設定	映像監視 映像遠隔根	検索 デバイスキ	犬態 温度監視 し	JMS設定 🛛 🛇 🖻	にューで検索したい文			
<u>.</u>	☑ 時間	☑ イペント 表示	☑ デスクトップ通知オン	☑ モーション検知	│ ☑ 保存装置エラー	🛛 最終選択メニュー	- 🗆 遠隔検索	
っしぜし族阳傍田	☑ チャンネル番号、タイトル	☑ 録画状態	□ テ スクトップ通知オフ	☑ センサー	☑その他	□デバイス管理	□デバイス状態管理	→田
ユーリー11EPK 6-14	☑ 再生モード	☑ 通知		🛛 ビデオロス		□監視		適用
ユーザー管理	OSD			デスクトップ通知		1	開始メニュー	

権限設定をするにはUMS設定 -> ユーザー権限管理で設定します。

フーザーリスト	ユーザー    権限
admin	
puser	
user	ユーザー管理
	ראיס (איט גאיט איט איט איט איט איט איט איט איט איט
	☑ ロダイン ON-OFF使用 □ スキップログイン ON-OFF (adminで使用)
	2-ザーパンフード
	パスワード変更 パスワード入力 パスワード再入力
	/ 追加之一了一管理
	1-#-8
	茶本ユーザー権限項目違訳
	ADMINISTRATOR     Current POWER USER Authority     Current NORMAL USER Authority
	ユーザー通加 ユーザー情報アップデート ユーザー新除
	通用

下図のように権限設定がポップアップされます。

上図の左側にあるユーザーリストでユーザーを選択後、下記の項目の設定が可能です。

ユーザー	ユーザーパスワード	選択されたユーザーのパスワードを変更します。		
権限	デバイス管理	選択されたユーザーのデバイス登録関連の権限を設定します。		
	監視	選択されたユーザーの監視機能関連の権限を設定します。		
	遠隔検索	選択されたユーザーの遠隔設定関連の権限を設定します。		
デバイス状態管理 選択されたユーザーのデバイス状態関連の権限を設定し				
	UMS設定	選択されたユーザーのオプション関連の権限を設定します。		

## 🧱 4. メインメニュー説明

UMSの上部にある6つのメニューで構成されています。

このメニューについては今後、機能改善を目的に変更される場合があります。

[1] デバイス設定

デバイス	設定 映像監視	- 映像 遠隔検索	テバイス状態	温度監視	UMS設定 🛛 🛇 メニュ	ーで検索したい文	
- <b>*</b>	FNS	BVR	FHS	<b></b>	<b>I</b>	<b>I</b>	<b>I</b>
エリア管理	FNSデバイス管理	BVRデバイス管理	FHSデバイス管理	V.T.M	UMSデバイス情報の	FNS_CMSテバイス	BVR_CMSデバイス
*				デバイス管理・	インボート_エクスボート	└ インボート	ロー インボート しょうしょう
エリア管理	FNSデバイス設定	BVRデバイス設定	FHSテバイス設定	V.T.M セットアップ		テバイス情報管理	
-"11" /=		あと 切 ナ フ ナ は ノ					

デバイス設定メニューは監視するためのデバイス登録、修正、削除が出来、監視デバイスを選択すると選択されたデバ イスごとの操作メニューが表示されます。

[2] 映像監視



登録されたデバイスを監視するためのいくつかのメニューがあります。接続及び接続終了する事が出来、その他に遠隔 設定、バックアップ、PTZ操作等も出来ます。

[3] 映像 遠隔検索

テバイス設定	፫ 映像監	視	映像 遠隔検	索 テバイスキ	犬態 温度監礽	1 U	MS設定	0	יבבא	−で検索	したい文.	
Ē,	ロマルチ			٩	à	Q						
監視タブ実行	⊠ シングル	接続	接続終了	映像キャプチャ	遠隔パックアップ	検索	٠٠	I		>>	ライブ	
監視	接続モード		接続	キャプチャ	バックアップ			映像退	。 遠隔検索	1		

遠隔からの検索やキャプチャー、バックアップが出来る機能が表示されます。

[4] デバイス状態

テバイス設定 映作	象監視 映像 遠隔検索	々 デバイス状態	温度監視 UMS	設定 🛛 メニュー	で検索したい文
www. DEVICE-HEALTH実行	☑ 全デバイス □チェック済みデバイス □ 選択済みデバイス	▶ ▲ 接続 接続解除	ライブ接続 接続解除	図 ネットワーク状態 図 センサー 図 ビデオロス	☑ 保存装置エラー ☑ システムエラー ☑ その他
状態	テハイス選択	チェック	テバイス確認	テパイスチェック	マネージャー通知

登録された監視デバイスのネットワーク状態、センサー発生の有無、ビデオロス等をモニタリング出来る機能が表示されます。

#### [5] 温度監視

デバイス設定	È 映	像監視	映	像 這隔検索	テバイス状態	温度監視	UMS設定
<b>正</b> 実行	よ 開始	<b>₿</b> ◎ ◎	<b>》</b> 設定	□ 最高温!			
管理ウィンドウ	温度	監視	設定	Temp Color N	lode		

温度計モジュールで測定した温度変化を遠隔で表示します。

[6] UMS設定

デバイス設定	映像監視 映像 遠隔検索 デパイス	状態 温度監視 UMS設定	♀ メニューで検索したい文					
 ユーザー権限管理	<ul> <li>☑ 時間</li> <li>☑ オペント表示</li> <li>☑ チャンネル番号、タイトル ☑ 録画状態</li> <li>☑ 再生モード</li> <li>☑ 通知</li> </ul>	<ul> <li>□ デスクトップ通知オン</li> <li>□ デスクトップ通知オフ</li> <li>□ センサ~</li> <li>□ ピデオロ</li> </ul>	ン検知   ☑ 保存装置エラー -	<ul> <li>☑ 最終選択メニュー □ 遠隔検索</li> <li>□ デパイス管理</li> <li>□ デパイス管理</li> <li>□ 監視</li> </ul>		大サイズ 標準サイズ 小サイズ 適用	<ul> <li>□ 大サイズ</li> <li>○ 標準サイズ</li> <li>□ 小サイズ</li> <li>□ 小サイズ</li> </ul>	□情報
ユーザー管理	OSD	デスクトップ	重知	開始メニュー	X=	ニューフォントサイズ	情報フォントサイズ	ツールパー

UMS設定はUMS上のOSDやフォントサイズ等の設定が出来ます。

## 5. 監視デバイス登録

UMSを使用するために、最初に監視デバイスの登録が必要です。監視デバイスのタイプによって選択する項目が異なります。

デバイス登録はWINDOWSのフォルダーのように、メインフォルダーの中にサブフォルダーを作成する事が出来、使用方法は、WINDOWSと同じ方法で行う事が出来ます。

#### [順序-1]監視デバイスを登録するには"デバイス設定"メニューを選択します。

デパイス	設定	映像監視	映像 遠隔検索	マーデバイス状態	温度監視 UMS	S設定 🛛 🗘 メニュ・	ーで検索したい文
<b>1</b>		FNS	BVR	FHS	Ð	I I	<b>I</b>
エリア管理	FNSデ	パイス管理	BVRデバイス管理	FHSデバイス管理	UMSデバイス情報の インポート_エクスポート	FNS_CMSデバイス インポート	BVR_CMSデバイス インポート
エリア管理	FNSデ	パイス設定	BVRテバイス設定	FHSデバイス設定		テバイス情報管理	

#### [順序-2・1] エリア管理

デバイス設定	映像監視	映像 遠隔検索	ミー デバイス状態	温度監視 UM	S設定 🛛 🌣 メニュー
	FNS	BVR-		<b>P</b>	
エリア官理 FNS7	- ハイス官理	BVHJ //1 //官理	FHSTハイス官理	UMSテハ1ス情報の インポート_エクスポート	FNS_CMSテハイス インポート
👫 エリア追加	パイス設定	BVRデバイス設定	FHSデバイス設定	デバイス	<b>青報管理</b>
藩 エリア変更					
🐘 エリア削除	× <del>•</del> • ×	────────────────────────────────────			

上図の赤枠にあるエリア管理を選択すると、エリアの追加/変更/削除をする事が出来ます。

<b>ネ エリア追加</b> エリアを新規作成する際に選択します。	
🐕 エリア変更	登録されているエリアを修正変更する際に選択します。
🐕 エリア削除	登録されているエリアを削除する際に選択します。

### [エリア追加メニューの説明]

Area management				
VIRTUAL AREA	MANAGEMENT			
AREA NAME AREA Informatior	エリア情報入	. <del>ர</del>		
🗌 ADI	D AS ROOT			
<b>**</b>	ADD AREA エリア情報アップデート	UPDATE AREA 選択したエリア情報をアップデート	TUTTINA DELETE AREA	

上図のように"AREA NAME"に任意の名前を入力します。エリアリストの名称になります。

"AREA Information"は参考用の説明になり、エリアリストへの表示はされませんが、入力が必須になります。 "ADD AS ROOT"をチェックすると、メインフォルダーへリストが作成され、チェックを入れないと選択したフォルダーの下 層に作成されます。



(ADD AS ROOTをチェックした場合)



(ADD AS ROOTをチェックしない場合)

ADD AREA	エリアをリストに登録します。
UPDATE AREA	選択されたエリアの情報を更新します。
DELETE AREA	選択されたエリアを削除します。

[順序-2・2]	監視デバイスの登録のために製品メーカーを選択します。
----------	----------------------------

テパイス	設定	映像監視	映像 遠隔検索	テパイス状態	温』	度監視	UMS	設定	יד־א 8
<b>N</b>		FNS	BVR	<b>&gt;</b>		<b>₽</b> ∕			₽
エリア管理	FNSテ	パイス管理	BVRデバイス管理	FHSデバイス管理	UMS: インポ・	テバイス情 -ト_エクス	「報の 、ポート	FNS_CM インテ	ISデバイス ドート
エリア管理	FNSデ	バイス設定	BVRデバイス設定	🖙 FHSデバイス)	自加	デア	イス情	報管理	
				🖙 FHSデバイス塗	変更				
情報		- <b>-</b> - <b>-</b> - <b>-</b>	♥ 映像監視 ×	🚡 FHSデバイス背	削除				

製品モデルによって登録ボタンが異なります。対象のモデルを選択して登録してください。

(下記の内容はFDS-HTシリーズでの説明になります。)

FNSデバイス管理	4NSYS製品登録時に選択します。
BVRデパイス管理	3R製品登録時に選択します。
FHSデバイス管理	フォーカス製品登録時に選択します。

Devi	ce Management				× UMS Universal Management System
FHS;	デバイス管理				
	DEVICE NAME	SH0P-001		DEVICE VERIFICATION	
	DEVICE Information	デバイス情報			
	LOGIN-ID	admin			
	LOGIN-PASS	••••			
	CH Count	04-CH	•		
	DEVICE Address	192.168.101.56		VIDE	O VERIFICATION
	DEVICE port	9010			
	ビデバイスURL使用 デバイスURL	yis1401.dynlink.net			
		ADD AS ROOT	ADD DEVIG デバイス追加	CE UPDATE D デバイス情報アッ	EVICE デート DELETE DEVICE デバル和除

製品登録ウィンドウで監視デバイスの情報を入力します。

DEVICE NAME	ユーザー任意の名前を入力します。
DEVICE Information	参考用の説明を入力します。
LOGIN-ID	監視デバイスのログインIDを入力します。
LOGIN-PASS	監視デバイスのパスワードを入力します。
CH Count	監視デバイスのチャンネルを選択します。
DEVICE Address	監視デバイスのIPアドレスを入力します。(ローカルの場合のみ必要)
DEVICE port	監視デバイスの接続ポートを入力します。
デバイスURL	流動的IPユーザーの場合、チェックしてDDNSアドレスを入力します。

CMS User's Manual

ADD AS ROOTにチェックを入れると、最上位のフォルダーに作成され、チェックを入れないと、選択したフォルダーの下層に追加されます。



## [順序-4] ADD DEVICE / UPDATE DEVICE / DELETE DEVICE

<b>FHS</b>	ADD DEVICE	UPDATE DEVICE	DELETE DEVICE
	デバイス追加	デバイス情報アップデート	デバイス削除

ADD DEVICE	監視デバイスリストに追加登録します。
UPDATE DEVICE	選択された監視デバイスの情報を更新します。
DELETE DEVICE	選択された監視デバイスを削除します。

インポート/エクスポート設定

既存(CMS)に登録していたデバイスデータをUMSにインポート/エクスポートします。

1. CMSの登録デバイスデータのインポート

【順序-1】

下図にある『FNS\_CMSデバイスインポート』をクリックします。

【順序-2】

追加するデバイスの地域名を選択します。

※地域名を選択しない場合は、ルートをクリックします。

FNS Device Import 追加されるデバイスの地域名 🗨	×
Input Area Name	↓ // // // // // // // // // // // // //
インポートするFNS CMSデバイス	」 .ファイル選択
	<b></b>
	Import
	Close

【順序-3】

下記の手順でCMSのiniファイルを表示させます。

```
PC>>Windows(C;)>>Program Files(×86)>>SurveillanceSystem>>CMS>>Config >>cms.iniをクリックします。
```

【順序-4】

赤枠のCMSデバイスファイル選択で、順序-4で保存したファイルを選択してImportをクリックすると、登録が完了します。



## 【注意】

インポート前に下記の作業を行ってください。 PC>>Windows(C;)>>Program Files(×86)>>SurveillanceSystem>>CMS>>Config >>cms.ini下記のファイルで一番上の段落を1段空けます。

※その際に文字コードをUTF-8を選択してください。

- 794 IU(E) 編集(E) 登礼(O) 表示(V) ハルノ(H)			
LCCR_DVR_COUNT_J DVR_COUNT=8 EDVR_NUM=0			
AUTO_END_0=2 AUTO_END_1=2 AUTO_END_1=2	文字コード(E):	ANSI	~
AUTO_END_11=2 AUTO_END_12=2 AUTO_END_12=2		ANSI	
AUTO_END_14=2 AUTO_END_15=2		Unicode Unicode big endian	
AUTO_END_16=2 AUTO_END_17=2 AUTO_END_18=2		UTF-8	
AUTO_END_19=2 AUTO_END_2=2 AUTO_END_2=2			
AUTO_END_21=2 AUTO_END_21=2 AUTO_END_22=2			
AUTO_END_23=2 AUTO_END_24=2 AUTO_END_25=2			
AUTO_END_26=2 AUTO_END_27=2 AUTO_END_28=2			
AUTO END 29-2 AUTO END 3-2 AUTO END 3-2			
AUTO_END_31=2 AUTO_END_32=2			
AUTO_END_33=2 AUTO_END_34=2 AUTO_END_35=2			
AUTO_END_36=2 AUTO_END_37=2 AUTO_END_37=2			
AUTO_END_38=2 AUTO_END_39=2 AUTO_END_4=2			
AUTO_END_40=2 AUTO_END_41=2			

2. UMSの登録デバイスデータのインポート/エクスポート

【順序-1】

下図にある『UMSデバイス情報のインポート\_エクスポート』をクリックします。

デバイス	設定 映像監視	映像 遠隔検索	マーデバイス状態	温度監視 UMS	設定 🛛 🗴	ューで検索したい文
<b>1</b>	FNS	BVR	FHS	Ð	R,	
エリア管理	FNSデバイス管理	BVRデバイス管理	FHSデバイス管理	UMSデバイス情報の インポート エクスポート	FNS_CMSデバイ インポート	イス BVR_CMSデバイス インポート
エリア管理	FNSデバイス設定	BVRデバイス設定	FHSデバイス設定		パイス情報管理	E

【順序-2.1】エクスポート方法

左下図の画面のフォルダーアイコンをクリックすると、右下図のように保存先と保存名を入力するフォルダーが表示されます。そのフォルダー上で保存先と保存名を入力し、『開く』ボタンをクリックすると、選択した保存先に保存されます。

エクスポートのファイル名を入力	1 作業中	20_Sun-L0_Share (SUNLS-HLESV) - ソヨー 21クスポートファイル.vdfg	2016/12/08 15:28 2017/10/05 13:11	ンヨートルフト VDFG ファイル	2 %8 6 KB	
	Dropbox					
Export	■ PC ダウンロード ■ デスクトップ ~					
Close	יזל					✓ vdfg Files (*.vdfg) ✓ ■ 置く(0) キャンセル

保存したデータは下図のように表示されます。



【順序-2.2】インポート方法

下図の画面上でインポートするデバイスの地域名を記入します。

※地域名を記入しない場合は、ルートボタンをクリックします。

次に『インポートするUMSデバイスファイル選択』の項目から下記のようにインポートしたいデバイスデータを選択します。 フォルダーのアイコンから上記の【順序-2.1】エクスポートで保存したデバイスデータを選択し、『Import』ボタンをクリッ クすると、エクスポートした情報がそのまま登録されます。

UMS Device Import - Export		×
追加されるデバイスの地域名		
Input Area Name	- <b>H</b>	ルートヘ
インポートするUMSデバイスファイル選択		
		=
	Import	

## 6. 登録リスト移動及び並び替え機能

この機能はすでに登録されているリストを名称順に並び替えをする事が出来ます。

### [5-1] マウスのドラックで移動

下図のようにリストを選択してドラックすると簡単に移動出来ます。



#### [5-2] 並び替え機能

並び替え機能はアルファベット順に自動で並び替えする機能です。



上図のようなリストがある場合、アルファベット順に並び替え出来ます。

フォルダー内を並び替えたい場合、フォルダー上で右クリックをして『項目整列』ボタンをクリックするとフォルダー内にあるリ ストが自動にアルファベット順に整理されます。

※名前はあいうえお順にも可能です。



# 💹 7. DVR 接続/接続終了

監視カメラの接続方法は4つの方法があります。

### [1] リストをダブルクリックして接続

監視情報	•	д	×
∎…∎ 🎆 токуо			
ININGYOCHO			
🖽 🗆 🏣 SHOP-01			
🖬 🔲 📊 SHOP-00.			

接続するリストをマウスの左ダブルクリックをすると接続されます。 ※接続のみ可能です。

#### [2] リストポップアップメニューで接続と接続終了



接続するリスト上でマウスの右クリックをして、ポップアップメニューを表示させます。 ポップアップメニューの接続/接続終了を選択します。

### [3] 接続メニューで接続/接続終了



接続するリストを選択後、上部にあるメインメニューから接続/接続終了を選択します。

[4] 下図の赤枠に接続したいデバイス名を入力して、検索ボタンをクリックすると、そのデバイスが選択されます。 メニューをクリックして、接続をクリックすると、デバイスが接続されます。



# 💹 8. デバイスビューアー実行

映像監視画面に連続して接続していく方法が一般的ですが、デバイスビューアー実行は新しい監視ウィンドウを追加 していく方法です。デバイスリストを選択後、SHIFT + マウスの左ボタンをダブルクリックすると、新しい監視ウィンドウ で接続されます。



上図のように別の監視ウィンドウでモニタリングが可能です。



また、上図のマウスアイコンのように右クリックをして赤枠内で終了したり、下図のように映像を縦、横に分ける事が出来ます。また、他のモニターウィンドウに移動して監視も出来ます。





(監視ウィンドウを追加して2台~4台のモニターにそれぞれ移動して配置が可能です。)





メインメニューの画面表示について、"UMS設定"メニューの中にあり、チェックした項目のみ表示されます。



Α	映像のライブ時間を表示します。					
В	チャンネル番号、タイトルを表示します。					
		① 赤色表示は録画中に表示されます。				
С	321	② 青色表示はライブ状態を意味して、赤色表示は再生モードを意味します。				
		③ イベントが発生時、黄色で表示します。				

※イベントが発生すると、画面の上下に赤い帯で表示します。



画面分割モード操作方法は2つあります。

画面分割モードから、決められた分割画面から選択する方法と赤枠の部分から縦横の分割モードを自由に設定して 行う方法の2つがあります。

※2つの方法共に最大256分割まで可能となります。

## [1] 設定された分割画面選択



上図のように"画面分割モード"をクリックして、複数の分割モードの中から選択します。 ※最大16×16の256分割まで可能

## [2] ユーザー任意の画面モード設定



ユーザー任意の画面分割はHOR(横方向の画面数) X VER(縦方向の画面数)を選択後、"適用"ボタンを選択 すると変更出来ます。

※最大16×16の256分割まで可能

## 11.順次接続(シーケンス機能)

順次接続とは、選択したリストのデバイスを指定した時間と分割画面で順次切替えする機能です。

【順序-1】

下図のように監視の中にあるシーケンスの切替え時間と分割画面数を選択します。 切替え時間は20秒から10分まで選択可能です。(SEC) 切替え接続リスト1台から10台まで選択可能です。(ea)



【順序-2】

順序1で切替え時間と分割画面を選択し、下図のように、順次切替えしたいデバイスにチェックを入れます。



【順序-3】

順次接続をクリックすると、選択したデバイスが自動で切り替わっていきます。 ※下図の『仮想エリア』にチェックをすると、選択したエリア内のデバイスが順次切替えされます。



# 12. マルチ・シングルモード

接続モードはシングルモードとマルチモードの2種類があります。

シングルモードとマルチモードの違いはシングルモードは1つのウィンドウに1つのデバイスのみ接続可能で、他のデバイス を接続する際は、既存のデバイスが自動で切断して、新しいデバイスが接続され、2つ以上のデバイスを同時に接続 する事はできません。マルチモードは複数のデバイスを同時に接続する事ができます。

【1】マルチモード

下図の赤枠にあるマルチモードにチェックを入れます。

uns 管理		監視		監視		状態
デバイス設定	宦 監視	遠隔検	索	デバイス状態		
Ē,	マルチョ	E <b>ド</b>				
監視対実行	ロシングル	しモード	接続	接続終了		
監視	マルチーシン	グルモード		接続		

マルチモードでは接続したデバイスが下図のように複数台同時に接続されます。

※パソコンの性能によって接続台数が増えると接続が途切れる場合があります。



【2】シングルモード

下図の赤枠にあるシングルモードにチェックを入れます。

ums 管理			監視			状態
デバイス設定	Ē	監視	遠隔椅	索	-	「バイス状態
Ē,		□ マルチモ	- <b>*</b>	.		
監視タブ実行		☑ シングル	モード	接	続	接続終了
監視	ן צ	チーシン	ヴルモード			

シングルモードでは1つのデバイスが接続されます。



# 13. 音声機能(ライブ/再生共通)

Num 1   • ☞移動 冒保存	Num 1 ・ 等リレーオン マリレーオフ	●) 音声	)) =	□ 自動 ☑ オフ	DE PER	V1EA 10 SEC 想エリア	* *
プリセット	リレー出力	<b>4</b> 0)	10	:h音声才ン	,		
		<b>4</b> 0)	20	:h音声才)	,		
		<b>4</b> 0)	30	:h音声才:	,		
	DISCONNECT	<b>4</b> 0)	40	:h音声才ン	,		
	DISCONNECT	<b>4</b> 0)	5c	:h音声才)	,		
		<b>4</b> 0)	60	:h音声才)	,		
		<b>4</b> 0)	7c	:h音声才)	,		
		<b>4</b> 0	8c	:h音声才)	,		
		<b>4</b> 0	9c	:h音声才)	,		
	U	<b>4</b> 0	10	lch音声才	ン	t System	
		<b>4</b> 0	11	ch音声才	ン		
		<b>4</b> 0	12	lch音声才	2		
	DISCONDUCT	<b>4</b> 0	13	ich音声才	ン		
	DISCONNECT	<b>(</b> 1)	14	lch音声才	ン		
		<b>(</b> 1)	15	ich音声才	ン		
		<b>4</b> 0	16	ich音声才	2		

音声機能はライブ、または再生時に音声を出力することができる機能です。

リストの中から音声を使用するデバイスを選択及び接続後、"音声"アイコンをクリックして、希望のチャンネルを選択する事で使用が出来ます。

(オプション)

自動	1つのチャンネルをクリックしてFULL画面にすると自動で音声機能可能。
☑ オフ	チェックすると、音声出力されません。

## 💹 14. PTZ 遠隔操作

遠隔でPTZカメラを操作出来る機能です。遠隔で操作するためには監視デバイスでPTZ設定をしてください。

下个习	❹.拡大	영,縮小	Num 1 🔹	Num 1 🔹
∈ 🐔 ∋	<b>⊕</b> フォーカス+	⊕フォーカス-	₽ 移動	▼リレーオン
R A 3	🥺 アイリスOPEN	<b>◎アイリ</b> スCLOSE	冒 保存	◎ リレーオフ
	PTZ		プリセット	リレー出力

最初に、PTZ操作するためには、PTZが設置されたチャンネルを選択してFULL画面に変更後にメインメニューから操作が可能です。

※複数の箇所で遠隔接続して、PTZカメラの操作があった場合、後から操作をしたデバイスが動かすことが出来ます。

<ul> <li></li> <li></li></ul>	PTZカメラの方向移動を操作します。
の、拡大 の、縮小	PTZカメラ映像を拡大、縮小します。
鍛フォーカス+ 翅フォーカス-	PTZカメラ映像のフォーカスを調整します。
፩アイリスOPEN ፩アイリスCLOSE	PTZカメラ映像のアイリスを調整します。
プリセット Num 1 - 夏移動 冒保存 プリセット	プリセット機能を使用出来ます。 最初にプリセット番号を選択後、"移動"ボタンを選択すると、移動及び保存 する事が可能です
リレー出力 Num 1 〒 リレーオン 〒 リレーオフ リレー出力	遠隔で強制的にアラーム出力を作動させる事が出来ます。 (モデルによっては対応しない場合もございます。)

プリセット機能 【順序-1】 操作したいカメラをフル画面で表示させます。



【順序-2】

下図の方向キーで設定したい位置まで移動させます。

移動後、プリセット番号をNum1-Num250から選択して保存します。

設定していない場所に移動しても、設定した番号を選択して移動ボタンをクリックすると、設定した場所に移動します。

ፍ ተ ጃ	母,拡大	영,縮小	Num 4 🔹	Num 1 -
€ 🖌 ∋	<b>⊕フォーカス</b> +	⊕フォーカス-	☞ 移動	🗑 リレーオン
K 🕆 🛛	アイリスOPEN	<b>◎アイリ</b> スCLOSE	冒 保存	◎ リレーオフ
	PTZ		プリセット	ルー出力

【プリセット別名】

プリセット別名とは設定したプリセット位置をNum1のように番号ではなく、下図のように名前を選択する事が出来ます。 Num1をレジに設定しておくと、移動ボタンまたは、番号をダブルクリックすると、設定した位置に移動します。 ※名前を入力した後、適用ボタンを押して保存してください。

プリセット別名 👻 🤫 🗙						
移動プリ		プリ	2ット別名	遃	ឤ	
	番	3	別名			
	1		レジ			
	2		パソコン			
	3		<u> </u>			
	4		厨房			
	5					

## 📃 15. 遠隔検索 📃

この機能は監視デバイスに保存された映像を遠隔で検索出来る機能です。 遠隔検索は時間検索、イベント検索、カレンダー検索、ターゲット検索があります。

## [参考]

\* インターネットを通した検索のため、インターネット速度によって反応速度に差が出る事があります。

### [1] 時間検索

時間検索とは時間を指定して、指定時間帯の映像を検索出来る機能です。

0	時間検索
0	イベント検索
0	カレンダー検索
Q,	ターゲット 検索 [Time-Thumnail]

検索をするために最初に検索デバイスの映像を選択、またはリストを選択後、上図のように"時間検索" ボタンを選択します。

Time Search				×
Time Search				
	錄画開始時間	201	8/04/15-09:0	2:00
	錄画終了時間	201	8/04/17-16:0	6:50
	検索要求時間	2018/04/17	<b>□</b> ▼ 16:06	:50
			錄画	情報受信完了
			Play	Close

上図の画面で日付と時間を選択後、"再生"を選択すると再生されます。

\* 監視デバイスによって表示されるメニューや機能の差がございます。

[2] カレンダー検索

カレンダー検索とは、カレンダーから日付を選択して、該当の時間帯の映像を検索できる機能です。

UMS Search	
◆ 4月2018 ◆ 日月火水末金土 1 2 3 4 5 6 7 ● 10 11 12 12 14	Hour Solecton:
15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28	Minute Selection
	Minute Selection: 0 5 10 15 20 28 30 35 40 45 50 55
5月 2018 日月火水木金土	Continue CH1
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	Motion CH2
13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26	Sensor CH3
	ETC CH4
6月 2018	CH5
	CH6
3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	CH7
17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	CH6
7月 2018	CH9
日月火水木金土	CHI0
8 9 10 11 12 13 14	CHII
15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28	CH12
29 30 31 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	CH13
	CH14
	CH15
	СНІБ
	The Schuler, Based & Based and State Based
Today	ring decision - 2016/ 4 /16 12:30:300 + - Pidy hequest

最初に、日付を選択後、時間と分を選択して"再生"ボタンをクリックすると再生されます。

\* 監視デバイスによって表示されるメニューや機能の差がございます。

## [3] イベント検索

イベントが発生されたリストを通じて検索する方法です。

検索				
履歴	時間	イベント	「青幸辰	
Time 2017-06-22	2017-06-22 16:30:15 2017-06-22 13:51:48	NETWORK	Logout (114.69.46.174) Logout (114.69.46.174)	
	2017-06-22 13:47:59 2017-06-22 13:04:24	NETWORK	Login (114.69.46.174) Login (114.69.46.174)	
Ű	2017-06-22 06:29:19	NETWORK	Logout (158.85.81.121)	
100 k 10 全体 ビデオロス システム 動き センサー				
チャンネル 「全体 1 2 3 4				
ログ保存 履歴を呼び出します。	履歴055	2017-06-25 15:10:37	A ALL CONTRACT	消し

最初に日付選択 -> イベントの種類選択 -> チャンネル選択 -> "履歴を呼び出します。"ボタンをクリックすると イベントリストが検索されます。希望のリストをクリックし、"再生" ボタンをクリックすると再生されます。

\* 監視デバイスによって表示されるメニューや機能の差がございます。

## 【4】ターゲット検索

ー定間隔の静止画で表示されて、目的の映像範囲を簡単に探すことが出来ます。 検索>>プレビュー検索(Time-Thumnail)



(1)上図の青枠の部分で希望のチャンネルを選択します。

(2)上図の赤枠部分で、必要な静止画の日付、時間帯を選択します。

Hour : 指定した時間(0時~24時)内の1時間分の映像を1分おき(60枚分)の静止画として表示します。

Day :指定した日付の1日分の映像を1時間おき(24枚分)の静止画として表示します。

Month : 指定した日付の前後15日間の映像を1日おき(30枚分)の静止画として表示します。

Rec Days:録画データがある全ての映像を静止画として表示します。

(3)Thumnail Requestをクリックすると、選択した時間帯の映像が静止画として表示されます。

(4)静止画像を確認して、確認したい静止画の部分を映像として表示する場合、上図の黄色枠にある時間を設定 して、Play Requestボタンをクリックします。

### [5] 再生ボタン機能

再生後、倍速/逆再生等を行うことが出来ます。

¥,	巻戻しボタン(クリックするたびに速度が速くなります。)
	停止ボタン
•	再生ボタン
<b>A</b>	早送りボタン(クリックするたびに速度が速くなります。)
ライブ	ライブモードに戻ります。

### [再生モード画面]



映像が再生中の場合、上段の右から2番目のバーが赤色に表示されます。 多くの監視デバイスが接続されている場合、どの装置が再生中なのかを確認するためです。 再生速度が速いほど ">>>>"表示が増加します。

\*倍速表示は製品のモデルによって最高速度が異なる事があります。

備考:再生中の画面色については「8.画面表示機能(ライブ/再生共通)」を参照してください。

# 📃 16. 遠隔バックアップ / ビュアー 📗

この機能は監視デバイスに保存された映像を遠隔でバックアップ出来る機能です。 遠隔バックアップにはライブバックアップ/スケジュールバックアップがあります。





\* インターネットを通してバックアップするため、インターネットの速度によって、反応速度に差が出る事 があります。

## [1] ライブバックアップ機能

ライブバックアップは接続されている画面の映像をバックアップする機能です。

最初に、保存先フォルダーを選択します。選択がない場合、基本フォルダー(マイドキュメント→CMS) に保存されます。

バックアップするチャンネルを選択後、"確認"ボタンをクリックすると、ライブバックアップが始まります。ライブバックアップを 停止したい場合は、もう一度メインメニューから"ライブバックアップ"ボタンをクリックすると停止します。

\* 監視デバイスによって表示されるメニューや機能の差がございます。

### [2] スケジュールバックアップ機能

スケジュールバックアップとは希望の日付/時間帯を選択してバックアップする機能です。

4 11	MON 5 12	2 TUE 6 13	017 WED 7 14	06 THU 1 8 15	FRI 2 9 16	• SAT 3 10 17	時間 午後 04:59:30 ・ ~ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
18 25 	19 26 ヤンネル 2 1	20 27 ル ⊂	21 26 ( ) 2 ( ) 2		23 )₃0 3	<b>24</b> ☑ 4	
マテ-ら 日付	ス /時間	がファ	イルネ	3267	表記	される	0%

最初に、カレンダーから日付を選択 -> 時間を選択 -> バックアップするチャンネルを選択後、"確認"ボタンを選択 すると、バックアップが開始します。バックアップを停止したい場合は、もう一度メインメニューから"スケジュールバックアップ" ボタンをクリックすると停止します。

\* 監視デバイスによって表示されるメニューや機能の差がございます。

## [3] ビュアープログラム使用法

バックアップ後、バックアップされた映像を見るためのビュアープログラムはモデルによって異なる事があります。

ビュアープログラムがある場所は下記のフォルダーを参考にしてください。

<u>32bit Windowsの場合: C:¥Program Files(x86)¥SurveillanceSystem¥UMS</u> 64bit Windowsの場合: C:¥Program Files¥SurveillanceSystem¥UMS

よく使用する場合は、デスクトップ上にショートッカットを作成してご利用ください。

🔯 BkViewer	FNS製品 (アナログDVR)
🔯 BkViewerHD	FNS製品 (AHD, HD-SDI DVR)
MultiBackupViewer	FHS製品 (AHD, EXSDI, NVR)

ビュアープログラムは監視デバイスのモデルによって異なります。

### [1] MultiBackupViewer 使用法

FHS製品のビュアープログラムです。



### ファイルを開く



ファイルを開く場合、映像データがあるメインディレクトリーを選択する事で、正常的にバックアップデータを読み込むことが出来ます。バックアップされた映像データは数字で表示されます。

7	ォルダーの参照	×
	Select saving directory	
検索オプション	<ul> <li>&gt; CrystalDiskInfo</li> <li>HDDScan-3.3</li> <li>♥ 타보X&gt;ト</li> <li>CMS</li> <li>Capture</li> <li>EM</li> <li>Mpg</li> <li>SSF</li> <li>192.10.101.56</li> <li>ArchiveData</li> <li>Outlook 파일</li> <li>사용자 지정 Office 서식 파일</li> </ul>	~
C:¥Users¥3F生産¥Do * The search folder "aa the parent folder from un	OK ++72	IL .
	OK キャンセル	

※重要:データを選択時、データが入っているフォルダーのメインフォルダーを指定してください。

SINGLE CH MULTI CH	単一チャンネルのみ、または複数のチャンネル同時かを
	再生時に選択します。
(1)	出力音声の音量を選択します。
1/8 1/4 1/2 1x 2x 4x 8x	再生速度を選択します。
$\Theta \odot (1) \bigcirc \Theta$	再生/逆再生/コマ再生等、再生方法を選択します。
<b>@</b>	一時停止後、デジタルズームを使用します。(マウスホイール)
<b>a</b>	一時停止後、画面をプリントする事が出来ます。
	一時停止後、イメージをキャプチャーする事が出来ます。
(B)	一時停止後、映像をAVIに変換出来ます。
	AVIファイルが変調されたのか確認出来ます。

## [2] BKViewer 使用法

FNS製品のアナログ監視デバイスのビュアープログラムです。



バックアップしたデータはパソコン上からビューアープログラムを利用し、再生速度などコントロールすることが可能です。 ①

( <sup>2</sup> )		
≝≝∎₽₽	⊞ III 🛱 🛱 AVI Start 0000/00/00 00:00.0 End 0000/00/00 00:00.0	
23456789	10 11 12 13 14	15

- ① スクロールバー : バーを移動して、再生位置を変更することができます。
- ② フォルダー: 他のバックアップファイルを開くことができます。
- ③ 巻戻し
- ④ 逆再生
- ⑤ 逆コマ送り
- ⑥ 一時停止
- ⑦ コマ送り
- ⑧ 再生
- ⑨ 早送り
- 10 4分割画面
- ⑪ 9分割画面
- 12 16分割画面
- ③ キャプチャー:ドキュメントーCMS-MPGフォルダにイメージファイル(BMP)を保存します。
- ④ AVI変換:再生中にAVIファイルに変換する区間をそれぞれ"START"と"END"の空欄にクリックすると、時間 が自動に入力されます。

"AVI"ボタンをクリックして、変換するチャンネルなどを選択して、変換を開始します。

⑮ 音声出力:映像データとともに記録されている音声を出力することが出来ます。

### [3] BKViewerHD 使用法

FNS製品のAHD, HDSDI監視デバイスのビュアープログラムです。



# 17. キャプチャー

この機能は、ディスプレイに表示されている静止画像や動画を画像データとして指定のファイルに保存する機能です。

【順序-1】

左下図の赤枠にある映像キャプチャーをクリックします。

クリックすると、右下図の黄色枠にある映像キャプチャーの保存形式(JPEG/BMP/PNG/TIFF)が表示されます。 保存形式4つの中から希望の保存形式を選択してクリックします。





【順序-2】

順序-1の作業を行うと、下図のように画面右下に保存先が表示されます。 ※保存名はキャプチャーした日付と時間で保存されます。

		₽×
UMS	C:\Users\nakaz\Documents\UMS\Capture\Cap_2018_01_16_17_53_39_524.jpeg	

18. ズーム

この機能は、ディスプレイの映像を拡大/縮小する機能です。

【1】フル画面でのズーム方法 マウスホイールを使用して、拡大縮小する事が出来ます。





【ズーム後】

【2】分割画面でのズーム方法

分割画面上でズームしたいチャンネルを選択後、【1】と同じように拡大縮小する事が出来ます。



【ズーム前】

【ズーム後】



遠隔地に設置された監視デバイスを遠隔で設定する機能です。 遠隔設定メニューは製品によって異なります。



遠隔設定が必要な監視デバイスをリストから選択、またはライブで映像を選択します。 上部のメニューから"遠隔設定"アイコンを選択すると遠隔設定ビュアーウィンドウが開きます。

## [参考]

\* 遠隔設定方法は製品によって機能が異なりメニューウィンドウも異なりますが、デバイス本体設定 と同じような形式になっています。使用方法は監視デバイスマニュアルを参考にしてください。

# 📰 20. デバイスヘルスマネージャー機能

デバイスヘルスマネージャー機能は接続された複数の監視デバイスに、ネットワーク、センサー、ビデオロス、HDDエラー、 システムエラーに対する問題が発生した際にに通知する機能です。



この機能を使用するためには、最初にリストからマウス右クリックし"デバイスヘルスマネージャーにデバイス追加"を選択します。フォルダー上でデバイス追加をクリックすると、フォルダー内にあるリスト全てが追加されます。

UMS 映像監視	UMS D-HEALTH ×				
<u> </u>	ネットワーク	<u>ቀ</u> ンታ -	ビデオロス	HDDI2~	<u> ୬</u> ステムエラー
SHOP-001	NOT CHECKED	X	X	X	X

上図のように選択された監視デバイスが登録されます。

登録したい監視デバイスについて同じ方法で登録してください。

テバイス設定 映作	象監視 映像 遠隔検護	索 デバイス状態	温度監袖	L UMS	設定 🛛 メニュー	で検索したい文
w型 DEVICE-HEALTH実行	<ul> <li>☑ 全デバイス</li> <li>□ チェック済みデバイス</li> <li>□ 選択済みデバイス</li> </ul>	▶ ▲ ▲ ▲ ★ 表記 → ▲ ▲ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★	ー ライブ接続	上 接続解除	☑ ネットワーク状態 ☑ センサー ☑ ビデオロス	☑ 保存装置エラー ☑ システムエラー ☑ その他
状態	テバイス選択	チェック	デバイン	、確認	デバイスチェックマ	マネージャー通知

デバイスチェックが何分間隔で監視するかに対する時間を選択後、"チェックスタート"ボタンをクリックすると設定した時間の周期でデバイス監視が開始されます。

デバイス名 ネットワーク センサー ビデオロス HDDエラー システムエラー						UMS D-HEALTH ×	UMS映像監視
	5-	)DI3- <u>977</u> !	HDD:	- ビデオロス	<u>ቀን</u> ት-	ネットワーク	<u> </u>
SHOP-001 NOT CHECKED X X X X		X	X	X	X	NOT CHECKED	SHOP-001

上図のように"X"で表示される場合、正常であることを意味します。

UNS 映像監視 UN	IS D-HEALTH 🗙				
デバイス名	ネットワーク	<u>ቀን</u> ት፦	ビデオロス	HDD13-	システムエラー
SHOP-001	NOT CHECKED	X	1 Occured	X	X

監視デバイスに異常が発生した場合はリストが赤く点滅して、該当のイベントに発生数を表示します。



イベントが発生したリストをマウスでダブルクリックすると、リストのライブ映像がが接続され、実際の異常有無を確認出 来ます。

接続	連続接続機能で設定された時間周期と関係なく常に接続しチェックします。
接続解除	連続接続機能を解除します。
<b>し</b> チェック中止	時間接続機能を中止します。
<b>.</b>	リストから選択されたデバイスのライブ接続機能
ライブ接続	(リストをダブルクリックと同じ機能)
接続解除	ライブ接続解除ボタン

#### デバイス状態のエクスポート

Ŧ	パイス状態のエクスポート					
5	"パイス名	ネットワーク	センサー	ビデオロス	HDDI5-	システムエラー
$\sim$	店舗C	NOT CHECKED	X	X		
$\sim$	店舗	NOT CHECKED	X	X		
$\sim$	店舗A	NOT CHECKED	X	X		
$\sim$	店舗	NOT CHECKED	X	X		
$\sim$	店舗S	NOT CHECKED	X	X		
$\sim$	ヤン部長	NOT CHECKED	X	X		
$\sim$	ヤン部長	NOT CHECKED	X	X		
$\sim$	京都信金様デモ	NOT CHECKED	X	X		
	22、428 日	NOT CHECKED	V	V		

## 21. 温度監視

この機能は別途提供の温度計の情報を遠隔で表示する機能です。

### 【1】温度計デバイス管理設定

1. 仮想温度計追加をクリックして、登録画面に移動します。

デバイス	設定 映像監視	映像 遠隔検索	マーデバイス状態	淐度監視	UMS設定 🛛 🗴
2					<b>P</b>
エリア管理	FNSデパイス管理	BVRデバイス管理	FHSデバイス管理	V.T.M デバイス管理・	UMSデバイス情報の インポート_エクスポー
エリア管理	FNSデバイス設定	BVRテバイス設定	FHSデバイス設定	V.T.M セットアップ	
			就 仮	想温度計证	自加
			<b>N</b> /E	相迫应到的	<b>* T</b>
			Villa La	いらんしえるト	多止

2. 下図の登録画面から必要情報を入力します。

V.T.M Management					×
V.T.Mデバイス管理					
V.T.M名	TM Device	使」	用するRS-485 IDの選択		
V.T.M 情報	TM Device Information		TM DEVICE RS-485 ID	SELECT II	
		Þ	1	Select	
			2	Select	
			3	Select	
			4	Select	
			5	Select	
			6	Select	
Connection Informa	ation ———		7	Select	
			8	Select	
シリアルホート	COM-1 •		9	Select	
転送速度	10200 BDC -		10	Select	
	13200 0P3 •		11	Select	
パリティ	EVEN -		12	□ Select	
			13	□ Select	
デバイスピット	1 BIT 🔹		14		
			15	L Select	▼
□ ルートに追加	ADD V 仮想温度計	TM H追加	UPDATE VTN 仮想温度計情報修订	e E	DELETE VTM 仮想温度計削除

V.T.M名:適当な名前を入力します。

V.T.M情報:情報メモを入力します。※V.T.M名に入力した名前と同様でも構いません。

シリアルポート:シリアルポートを選択します。※画像1の赤枠部分でシリアルポートを確認します。

デバイスマネージャ-> ポート(COMとLPT)から番号を確認します。

転送速度:転送速度を選択します。

パリティ:パリティを選択します。

デバイスビット:デバイスビットを選択します。

使用するRS-485 IDの選択: ID番号を選択します。



【画像1】

仮想温度計追加をクリックして、登録します。
 仮想温度計情報修正で登録情報の修正、仮想温度計削除で登録情報の削除が出来ます。

【2】温度監視ウィンドウ実行

1. 温度監視ウィンドウ実行をクリックします。

デバイス設定 映像	象監視 映像 遠隔検索	<b>.</b>	バイス状	態	温度監視	UМ	S設定 🛛	メニューで検	索したい文			
2月 温度監視ウィンドウ実行	2度検索ウィンドウ実行	よ 開始	。 停止	<b>今</b> 設定		度	☑ 温度保存		□ 30 Sec □ 1 MIN □ 3 MIN	₽ 適用	☑ 1 Month □ 2 Month □ 3 Month	₽ 適用
管理ウ	つドウ	温度	監視	設定	温度表示モ	-*			έ Έγ		情報保存期	朋問

登録したデバイスをリスト上でクリック後、開始をクリックします。
 登録デバイス情報、通信状態、最高温度、ポイントごとの温度等を確認出来ます。

请报	• * ×	TM.Viewer ×																	-
検索文字を入力してくだ 🔎 検索		Main Device [Th	I Device ]																F
■ 🖼 🕀 〒21-1																			
■ 図 → 会議室		シリアルボート			通信状態	TX RO	C N	15	高温度		ID-	01 26.8 [1:12	:3]	60 -					MIN
ロービー ショールーム		A- 12 18 19			75-14-5			TM 01						40 -					MAX
■ 🜌 👬 テスト2		報达速度			7 J-A (67)	STATUS	UPP .	26.8 [1:12:	1										
■ 図 → テスト3		パリティ	EVEN	•		STATUS								20 -					_
■ 図 👬 テスト4		# 15 / D Park			会社名	O IN Divisio	d Sustam												_
M Device		7/17(3)			A 11-11	Contragen								0					_
		RS-485 ID												-20					_
		Sensor Status [1	M Device ]															_	
		тм選択	全体	т	M 01														
						2	4	5	6			•	10	11	12	12	14	16	16
		NUMBER			22 23	23	24	25	25	25	25	25	25	25	25	24	24	25	24
					23 23	24	24	26									24	26	
プutruls名	X	MAX-Temp	26.8		24 24	24	25				26		26	26	26			26	
eu /		ALABM	STATUS		22 23	22	25	24	24	24	25	25	24	26	24	24	24	24	25
- 1000 石 番号 ブリヤット名	Erex.																		

3. 最高温度にチェックを入れると、ポイントで最高になった箇所の温度が赤く表示されます。 チェックを外すと温度の高さによって色が変化します。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
21	22	23	23	24	24	24	24	25	24	24	24	24	23	24	23
23	23	23	24	25	24	24	25	24	25	24	25	25	24	25	24
22	23	23	25	24	25	25	26	25	26	26	26	24	25	25	24
21	22	21	24	23	24	24	24	25	24	25	24	24	24	24	24

CMS User's Manual

- 【3】温度検索ウィンドウ実行
- 1. 温度検索ウィンドウ実行をクリックします。

テバイス設定 映作	象監視 映像 遠隔検索	€ <b>7</b> .	バイス状	態	温度監視 UN	IS設定 ♀	メニューで検	索したい文			
2度監視ウィンドウ実行		よう 開始	<mark>∲</mark> 止	<b>》</b> 設定	□最高温度	☑ 温度保存		□ 30 Sec □ 1 MIN □ 3 MIN	<b>₽</b> 適用	☑ 1 Month □ 2 Month □ 3 Month	₽ 適用
管理ウ	ርሳቸታ	温度	監視	設定	温度表示モード		」 温度情報	₩ ₩		情報保存	期間

2. 下図で検索する条件を設定します。

Condition				
Data Mode	🖂 MAX Data 🛛 🗌 SD-TM100 Da	ata		
Time Range	2018/9/24 18:13:35 - \$	2018/9/25 18:13:35 - 🗘	485 ID	ALL •
Temperature	-500 ~	500	Alarm	DON
DATA SI	EARCH RESET RESULT			

Date Mode:基準にするモードを選択します。

※MAX Dateの場合【画像2】の赤枠部分に表示されるデータもMAXを記録した温度計のみを表示します。

SD-TM100 Dateの場合【画像2】の赤枠部分に表示されるデータは接続している全ての温度計を表示します。

Time Range:検索する時間の範囲を選択します。

Temperature:検索する温度の範囲を選択します。

485 ID:検索で表示するID番号を選択します。

Alarm:アラーム出力の可否を選択します。

DATA SEARCH:検索を開始します。

RESET RESULT:データが初期化されます。

3. 選択した設定の温度データを確認出来ます。

Time	-  Max-Temp [.C] -	Alarm	Max-485 ID	Max-SS	Max-X	Max-Y	TM 485 ID	TM Max-Temp [.C]	TM Max-SS	TM Max-X	TM Max-Y	TM Alarm	TM DO	TM FW-Ver	TM Status
2018/10/01 13:10:33	20.0	OFF				6		20.0			é	VEF	VIT	101	nonme
2018/10/01 13:10:23	26.7	OFF		1	11	2		26.7				OFF	OFF	151	NORMAL
2018/10/01 13:10:13	26.7	OFF	1	1	11	2		26.7				OFF	OFF	151	NORMAL
2018/10/01 13:10:03	26.5	OFF	1	1	11	2		26.5				OFF	OFF	151	NORMAL
2018/10/01 13:09:53	26.7	OFF	1	1	11	2		26.7		11		OFF	OFF	151	NORMAL
2018/10/01 13:09:43	26.7	OFF	1	1	11	2		26.7				OFF	OFF	151	NORMAL
2018/10/01 13:09:33	26.8	OFF		1	11	2		26.8				OFF	OFF	151	NORMAL
2018/10/01 13:09:23	26.9	OFF		1	11	2		26.9				OFF	OFF	151	NORMAL
2010/10/01 12:00:12	96.7	OFF	1	1	11	9		96.7	1	11	- 1	OFF	OFF	161	NORMAL

Time : 時間を表示します。

Max-Temp[.C]: 一番高い温度が記録された温度計のMaxの温度を表示します。

Alarm:アラーム出力可否

Max-485 ID:一番高い温度が記録された温度計のIDを表示します。

Max-SS: 一番高い温度が記録された温度計のセンサーを表示します。

Max-X:センサーのX軸の数字を表示します。

Max-Y:センサーのY軸の数字を表示します。

TM 485 ID:温度計のIDを表示します。

TM Max-Temp: TM 485 IDで表示されたIDの温度を表示します。

TM Max-SS: TM 485 IDで表示された温度で一番高い温度が記録された温度計のセンサーを表示します。

TM Max-X: TM 485 IDで表示された温度計のセンサーのX軸の数字を表示します。

TM Max-Y: TM 485 IDで表示された温度計のセンサーのY軸の数字を表示します。
TM Alarm:アラームの情報を表示します。
TM DO: DOの情報を表示します。
TM FW-Ver:温度計のバージョンを表示します。
TM Status:温度計のステータスを表示します。

※青枠の項目を押すことによって、高い温度から順に表示したり、低い温度から順に表示したり整理することが出来ます。

# 📃 22. デスクトップ通知

この機能はUMSプログラムを実行後、プログラムを閉じずに、最小化する時に様々なイベントに対してアラームウィンドウを表示する機能です。

管理	監視		状態			;			
・ テバイス設定	監視	遠隔検索	デバイス状態		WINDOWS		デスクトップ通知		
<ul> <li>☑ デスクトップ通知</li> <li>□ デスクトップ通知</li> </ul>	ロオン ロオフ	☑ モーション ☑ センサー ☑ ビデオロス	/検知	☑ 保存装置 ☑ その他	『エラー	2 i 2 i	ネットワーク状態 センサー ビデオロス		保存装置エラー システムエラー その他
通知オン/オフ			監視通知			デバイスチェックマネージャー通			

上図のように"デスクトップ通知ON"した時には、選択されたイベントが発生時ウィンドウの下端右側にメッセージで通知される機能です。

